

## arrowhead のリニューアル時における売買制度の見直しについて

平成 26 年 12 月 24 日  
株式会社 名古屋証券取引所

### I 趣旨

当取引所が利用しております株券等の立会取引に係る売買システムである(株)東京証券取引所の arrowhead (以下「arrowhead」という。)においては、電子取引の利用の進展等、昨今の株式市場を取り巻く環境の変化を踏まえ、市場の信頼性を維持するとともに、多様化する取引参加者及び投資者のニーズに対応するため、システム処理能力の向上、機能の追加・改善及び売買制度の一部見直し等を目的としたリニューアルの準備が進められており、平成 27 年 9 月 24 日の稼働を予定されております。

また、arrowhead のリニューアルに合わせ、呼値の単位の適正化について、フェーズ I・II 実施後の売買状況や取引参加者・投資者の意見等を踏まえ、適正な呼値の単位を決定するフェーズ III が実施されることとなっております。

こうした状況を踏まえ、当取引所においても、arrowhead のリニューアル時における売買制度の見直しについて、以下のとおり概要をとりまとめました。

具体的には、呼値の単位の見直しフェーズ III においては、フェーズ I・II で新たに設けた細かい呼値の単位を一部見直すものの、その適用対象は引き続き TOPIX100 構成銘柄における名証上場銘柄 (以下「TOPIX100 構成重複銘柄」という。) のみに限定するとともに、複数の呼値による急激な価格変動を抑制するため連続約定気配の表示条件を追加するなどの見直しを行うこととします。

### II 概要

項目	内容	備考
1. 呼値の単位の見直しフェーズ III (1) 対象銘柄	<ul style="list-style-type: none"><li>フェーズ I 及び II で新たに設けた呼値の単位の一部を見直すこととします。</li><li>フェーズ I 及び II と同様、TOPIX100 構成重複銘柄を対象とします。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>TOPIX100 構成銘柄が入れ替えられる場合には、対象銘柄も変更されることとなります。</li><li>その他の銘柄については、引き続き、従来の呼値の単位を適用します。</li></ul>

項 目	内 容	備 考
(2) 呼値の単位の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>1株の値段が3,000円を超え5,000円以下の場合における呼値の単位について1円(現行は0.5円)に変更します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1株の値段が30,000円を超え50,000円以下の場合における呼値の単位等、桁が異なる値段帯においても同様に変更します。</li> <li>呼値の単位の詳細については、別紙1をご参照ください。</li> </ul>
2. 連続約定気配の表示条件の追加 ・表示条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の呼値による急激な価格変動においても連続約定気配を表示するため、表示条件の追加を行います。</li> <li>当取引所が適当と認める時間内に当取引所が適当と認める値幅を超えて価格が変動する場合、連続約定気配の表示を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的には、基準となる約定を定め、そこから1分間以内に特別気配の更新値幅の2倍を超えて価格が変動する場合に、連続約定気配を表示する運用とします。詳細については、別紙2をご参照ください。</li> <li>既存の表示条件に基づく連続約定気配の表示についても引き続き行います。</li> </ul>

### Ⅲ 実施時期（予定）

arrowhead のリニューアル（平成27年9月24日予定）に合わせて実施します。

以 上

## ○呼値の単位の見直しフェーズⅢにおける呼値の単位

呼 値	呼値の単位			
	その他の銘柄	TOPIX100 構成重複銘柄		
		フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ
～ 1,000 円 以下	1 円	1 円	0.1 円	0.1 円
1,000 円 超 ～ 3,000 円 //	1 円	1 円	0.5 円	0.5 円
3,000 円 // ～ 5,000 円 //	5 円	1 円	0.5 円	<u>1</u> 円
5,000 円 // ～ 10,000 円 //	10 円	1 円	1 円	1 円
10,000 円 // ～ 30,000 円 //	10 円	5 円	5 円	5 円
30,000 円 // ～ 50,000 円 //	50 円	5 円	5 円	<u>10</u> 円
50,000 円 // ～ 100,000 円 //	100 円	10 円	10 円	10 円
100,000 円 // ～ 300,000 円 //	100 円	50 円	50 円	50 円
300,000 円 // ～ 500,000 円 //	500 円	50 円	50 円	<u>100</u> 円
500,000 円 // ～ 1,000,000 円 //	1,000 円	100 円	100 円	100 円
1,000,000 円 // ～ 3,000,000 円 //	1,000 円	500 円	500 円	500 円
3,000,000 円 // ～ 5,000,000 円 //	5,000 円	500 円	500 円	<u>1,000</u> 円
5,000,000 円 // ～ 10,000,000 円 //	10,000 円	1,000 円	1,000 円	1,000 円
10,000,000 円 // ～ 30,000,000 円 //	10,000 円	5,000 円	5,000 円	5,000 円
30,000,000 円 // ～ 50,000,000 円 //	50,000 円	5,000 円	5,000 円	<u>10,000</u> 円
50,000,000 円 //	100,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円

### ○追加される連続約定気配の表示条件の詳細

複数の呼値による急激な価格変動においても連続約定気配を表示するため、以下の表示条件を追加する。連続約定気配は、呼値が行われた際に、新たに追加する表示条件または既存の表示条件のいずれかを満たした場合に表示する。なお、2つの条件を同時に満たす場合は、当該呼値が行われる直前の約定値段に近い値段に連続約定気配を表示する。

新たに追加される表示条件：

基点となる約定（注1）の発生時刻から当取引所が適当と認める時間（1分間、以下「連続約定気配監視時間」）内に、基点となる約定の約定値段から、当取引所が適当と認める値幅（特別気配の更新値幅の2倍、以下「連続約定可能値幅」）を加えた（減じた）値段を超えて対当する場合、当該値段に連続約定気配を表示する。

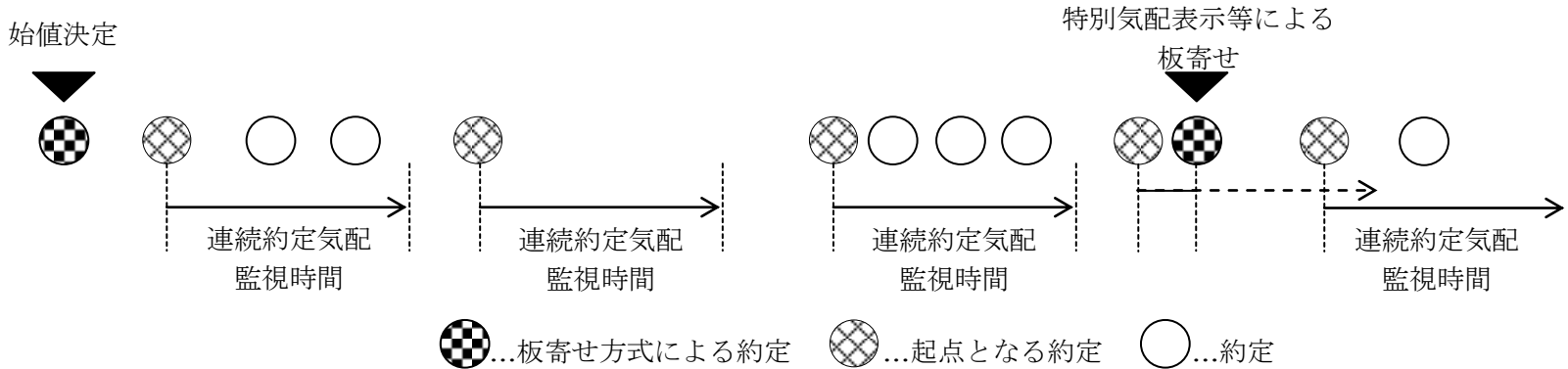
（注1）基点となる約定とは以下の約定を指す。

- ・板寄せ方式による約定後の最初のザラバ中の約定
- ・連続約定気配監視時間経過後の最初のザラバ中の約定

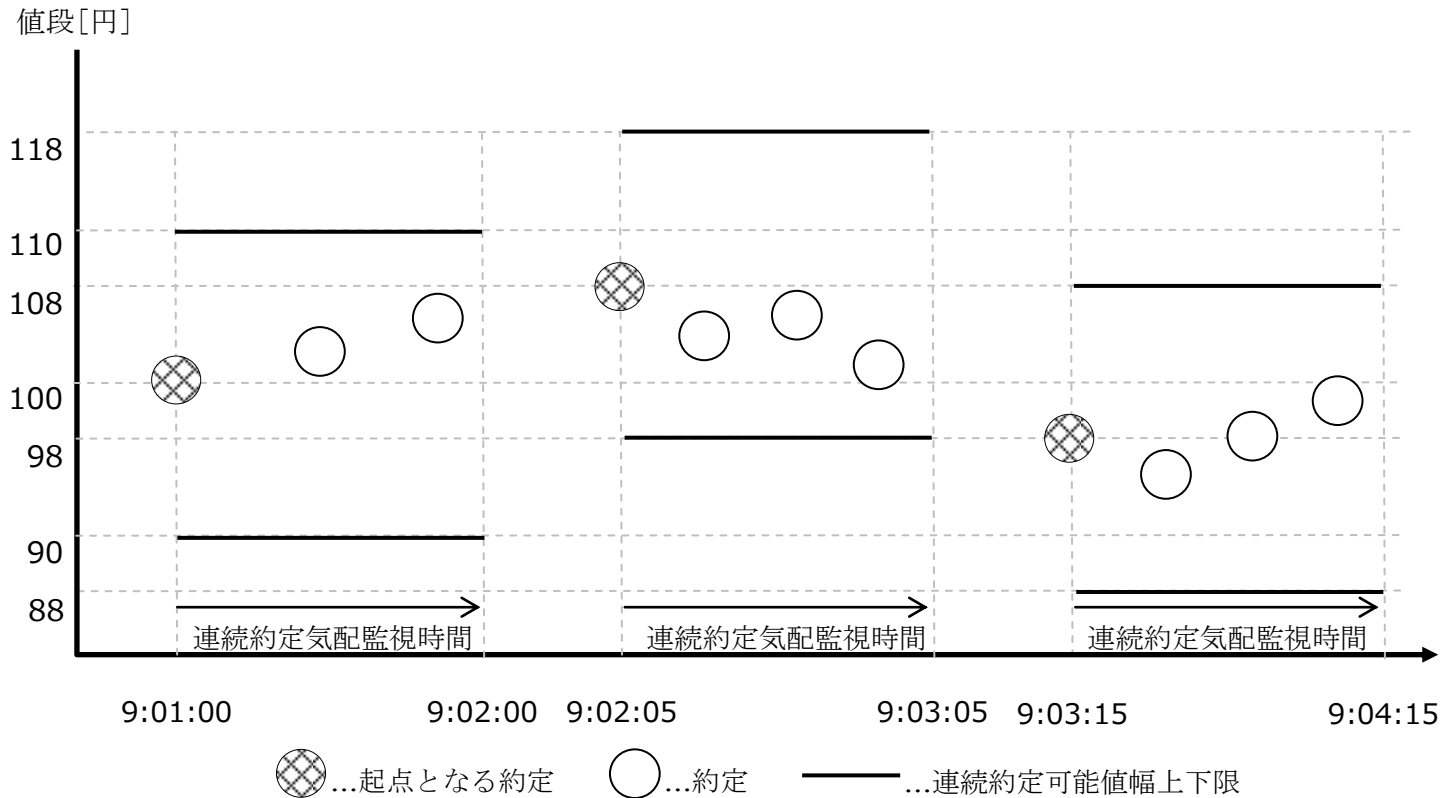
【参考】既存の表示条件：

一の買呼値（売呼値）による約定により買い上がり（売り下がり）が発生し、当該呼値が行われる直前の約定の約定値段から、連続約定可能値幅を加えた（減じた）値段を超えて対当する場合、当該値段に連続約定気配を表示する。

#### 1. 起点となる約定と連続約定気配監視時間のイメージ



## 2. 連続約定可能値幅のイメージ



特別気配の更新値幅：5円（200円未満の場合）

連続約定可能値幅：10円

連続約定気配監視時間：1分間

（注2）既存の表示条件においては、呼値が行われる直前の約定の約定値段からの価格変動幅をもって表示有無の判定を行うため、上記イメージ図における連続約定可能値幅の範囲内においても、既存の表示条件に基づき連続約定気配の表示が行われる場合がある。（具体例3.5参照）

### 3. 具体例

(3. 1 新たに追加する表示条件に基づく表示)

時刻	9:01:00
約定値段	100
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	104
直前の約定の値段	100
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	108
直前の約定の値段	104
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:30
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

計		計
0	成行	0
4	OVER	0
4	1 112	0
3	110	0
3	1 108	0
2	105	0
2	1 104	0
1	103	0
1	101	0
1	1 100	1
0	98	1
0	96	2
0	95	1
0	93	3
0	91	1
0	90	4
0	88	1
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
3	OVER	0
3	1 112	0
2	110	0
2	1 108	0
1	105	0
1	1 104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1
0	96	2
0	95	1
0	93	3
0	91	1
0	90	4
0	88	1
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	110	0
1	1 108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1
0	96	2
0	95	1
0	93	3
0	91	1
0	90	4
0	88	1
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
1	OVER	0
1	1 112	1
0	110	1
0	108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1
0	96	2
0	95	1
0	93	3
0	91	1
0	90	4
0	88	1
0	UNDER	5

100 円に買呼値(1 単位)が到来し、100 円で約定する。起点となる約定として設定される。

104 円に買呼値(1 単位)が到来し、104 円で約定する。

108 円に買呼値(1 単位)が到来し、108 円で約定する。

112 円に買呼値(1 単位)が到来し、起点となる約定から 1 分間以内に連続約定可能値幅を超えて 112 円で対当したため、110 円の買側に連続約定気配が表示される。

(3. 2 起点となる約定の再設定)

時刻	9:01:00
約定値段	100, 101
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	104
直前の約定の値段	101
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	108
直前の約定の値段	104
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:02:05
約定値段	112
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	112
起点となる約定の時刻	9:02:05

計	成行	計
0		0
5	OVER	0
5	1 112	0
4	110	0
4	1 108	0
3	105	0
3	1 104	0
2	103	0
2	1 101	2
1	1 100	2
0	98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	88	1 6
0	UNDER	6

計	成行	計
0		0
3	OVER	0
3	1 112	0
2	110	0
2	1 108	0
1	105	0
1	1 104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	110	0
1	1 108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1	1 112	1
0	110	1
0	108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

101 円に買呼値(2 単位)が到来し、100 円、101 円と瞬時に約定し買い上がる。100 円が起点となる約定として設定される。

104 円に買呼値(1 単位)が到来し、104 円で約定する。

108 円に買呼値(1 単位)が到来し、108 円で約定する。

112 円に買呼値(1 単位)が到来し、起点となる約定から 1 分間経過しているため、112 円で約定する。起点となる約定として再設定される。

(3. 3 起点となる約定の再設定 - 板寄せ約定によりクリアされるケース)

時刻	9:01:00
約定値段	100
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	-
直前の約定の値段	100
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	105
直前の約定の値段	100
起点となる約定の値段	-
起点となる約定の時刻	-

時刻	9:01:30
約定値段	108
直前の約定の値段	105
起点となる約定の値段	108
起点となる約定の時刻	9:01:30

計		計
0	成行	0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	110	0
1	108	0
1	105	0
1	104	0
1	103	0
1	101	0
1	1 100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
1	OVER	0
1	1 112	1
0	110	1
0	108	1
0	105	力 1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
2	OVER	0
2	1 112	1 1
1	110	1
1	108	1
1	1 105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	110	0
1	1 108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

100 円に買呼値(1 単位)が到来し、100 円で約定する。起点となる約定として設定される。

112 円に買呼値(1 単位)が到来し、直前の約定から特別気配の更新値幅を超えて 112 円で対当したため、105 円の買側に特別気配が表示される。

105 円に売呼値(1 単位)が到来し、気配表示値段である 105 円において板寄せ方式の対当条件を満たしたため、直ちに 105 円で約定する。起点となる約定がクリアされる。

108 円に売呼値(1 単位)が到来した後、108 円に買呼値(1 単位)が到来し、108 円で約定する。起点となる約定として設定される。



(3. 4 起点となる約定の継続)

時刻	9:01:00
約定値段	100, 104, 108
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:30
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

計	成行	計
0		0
4	OVER	0
4	1 112	0
3	110	0
3	1 108	3
2	105	3
2	1 104	3
1	103	3
1	101	3
1	1 100	3
0	98	1 4
0	96	4
0	95	1 5
0	93	5
0	91	1 6
0	90	6
0	88	1 7
0	UNDER	7

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1	1 112	1 1
0	110	K 1
0	108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1	1 112	0
0	110	0
0	108	0
0	105	0
0	104	0
0	103	0
0	101	0
0	100	0
0	98	1 1
0	96	1
0	95	1 2
0	93	2
0	91	1 3
0	90	3
0	88	1 4
0	UNDER	4

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1	1 112	1 1
0	110	K 1
0	108	1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1 2
0	96	2
0	95	1 3
0	93	3
0	91	1 4
0	90	4
0	88	1 5
0	UNDER	5

108 円に買呼値(3 単位)が到来し、100 円、104 円、108 円と瞬時に約定し買い上がる。100 円が起点となる約定として設定される。

112 円に買呼値(1 単位)が到来し、起点となる約定から 1 分間以内に連続約定可能値幅を超えて 112 円で対当したため、110 円の買側に連続約定気配が表示される。

112 円の買呼値が取消しされ、連続約定気配が消滅する。

112 円に買呼値(1 単位)が到来し、起点となる約定から 1 分間以内に連続約定可能値幅を超えて 112 円で対当したため、110 円の買側に連続約定気配が表示される。

(3. 5 既存の表示条件に基づく表示)

時刻	9:01:00
約定値段	100
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	98
直前の約定の値段	100
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	101, 104, 108
直前の約定の値段	98
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

計		計
0	成行	0
5	OVER	0
5	1 112	0
4	110	0
4	1 108	0
3	105	0
3	1 104	0
2	103	0
2	1 101	0
1	1 100	1
0	98	1
0	96	2
0	95	1
0	93	3
0	91	1
0	90	4
0	88	1
0	UNDER	5

計		計
0	成行	0
5	OVER	0
5	1 112	0
4	110	0
4	1 108	0
3	105	0
3	1 104	0
2	103	0
2	1 101	0
1	1 100	0
1	1 98	1
0	96	1
0	95	1
0	93	2
0	91	1
0	90	3
0	88	1
0	UNDER	4

計		計
0	成行	0
4	OVER	0
4	1 112	4
3	110	4
3	1 108	4
2	1 105	4
2	1 104	4
1	103	4
1	1 101	4
0	100	4
0	98	4
0	96	4
0	95	1
0	93	5
0	91	1
0	90	6
0	88	1
0	UNDER	7

計		計
0	成行	0
1	OVER	0
1	1 112	1
0	110	1
0	108	K 1
0	105	1
0	104	1
0	103	1
0	101	1
0	100	1
0	98	1
0	96	1
0	95	1
0	93	2
0	91	1
0	90	3
0	88	1
0	UNDER	4

100 円に買呼値(1 単位)が到来し、100 円で約定する。起点となる約定として設定される。

98 円に売呼値(1 単位)が到来し、98 円で約定する。

112 円に買呼値(4 単位)が到来し、101 円、104 円、108 円と瞬時に約定し買い上がる。

一の買呼値による買い上がりにより、当該呼値が行われる直前の約定から連続約定可能値幅を超えて 112 円で対当したため、108 円の買側に連続約定気配が表示される。

(3. 6 新たに追加する表示条件に基づく表示 - 反対注文に起因するケース)

時刻	9:01:00
約定値段	100, 104, 108
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:02:20
約定値段	111
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	-
起点となる約定の時刻	-

計	成行	計
0		0
4	OVER	0
4	1 112	0
3	111	0
3	110	0
2	1 108	3
2	105	3
1	1 104	3
1	103	3
1	101	3
0	1 100	3
0	98	1 4
0	96	4
0	95	1 5
0	93	5
0	91	1 6
0	90	6
0	UNDER	6

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1	1 112	0
0	111	2
0	110	2
0	108	2
0	105	2
0	104	2
0	103	2
0	101	2
0	100	2
0	98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	111	2
1	110	K 2
1	108	2
1	105	2
1	104	2
1	103	2
1	101	2
1	100	2
1	1 98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
2	OVER	0
2	1 112	0
1	111	2
1	110	2
1	108	2
1	105	2
1	104	2
1	103	2
1	101	2
1	100	2
1	1 98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	UNDER	5

108 円に買呼値(3 単位)が到来し、100 円、104 円、108 円と瞬時に約定し買い上がる。100 円が起点となる約定として設定される。

111 円に買呼値(2 単位)が到来する。

98 円に売呼値(1 単位)が到来し、起点となる約定の 1 分間以内に連続約定可能値幅を超えて 111 円で対当したため、110 円の買側に連続約定気配が表示される。

連続約定気配表示から 1 分間経過後、板寄せ方式により 111 円で約定する。起点となる約定がクリアされる。

(3. 7 新たに追加する表示条件に基づく表示 - 累計数量の逆転を伴うケース)

時刻	9:01:00
約定値段	100, 104, 108
直前の約定の値段	98(始値)
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:10
約定値段	-
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	100
起点となる約定の時刻	9:01:00

時刻	9:01:20
約定値段	110
直前の約定の値段	108
起点となる約定の値段	-
起点となる約定の時刻	-

時刻	9:01:20
約定値段	-
直前の約定の値段	110
起点となる約定の値段	-
起点となる約定の時刻	-

計	成行	計
0		0
4	OVER	0
4 1	112	0
3	111	0
3	110	0
2 1	108	3
2	105	3
1 1	104	3
1	103	3
1	101	3
0 1	100	3
0	98	1 4
0	96	4
0	95	1 5
0	93	5
0	91	1 6
0	90	6
0	UNDER	6

計	成行	計
0		0
1	OVER	0
1 1	112	0
0	111	2
0	110	2
0	108	2
0	105	2
0	104	2
0	103	2
0	101	2
0	100	2
0	98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
4	OVER	0
4 1	112	0
3	111	2 2
3	110	K 2
3	108	2
3	105	2
3	104	2
3	103	2
3	101	2
3	100	2
3 3	98	1 3
0	96	3
0	95	1 4
0	93	4
0	91	1 5
0	90	5
0	UNDER	5

計	成行	計
0		0
2	OVER	0
2 1	112	0
1	111	0
1	110	0
1	108	0
1	105	0
1	104	0
1	103	0
1	101	0
1	100	0
1 1	98	1 1
0	96	1
0	95	1 2
0	93	2
0	91	1 3
0	90	3
0	UNDER	3

108 円に買呼値(3 単位)が到来し、100 円、104 円、108 円と瞬時に約定し買い上がる。100 円が起点となる約定として設定される。

111 円に買呼値(2 単位)が到来する。

98 円に売呼値(3 単位)が到来し、起点となる約定から 1 分間以内に連続約定可能値幅を超えて 111 円で対当したため、110 円の買側に連続約定気配が表示されると共に、気配表示値段である 110 円における累計数量が逆転したことにより、直ちに 110 円で約定する。起点となる約定がクリアされる。

売呼値の残数量(1 単位)が板に登録され、直前の約定から特別気配の更新値幅を超えて 98 円で対当したため、105 円の売側に特別気配が表示される。